

東洋水産グループ
中間報告書
2020

第73期 [2020年4月1日～2020年9月30日]



Smiles for All.

すべては、笑顔のために。



「笑顔」と「健康」をお届けできる会社を目指して Smiles for All. すべては、笑顔のために。

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
当社第73期第2四半期決算を終えましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

いまむら まさなり
代表取締役社長 今村 将也

当中間期の概況(連結)

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありました。先行きにつきましては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルが引き上げられていく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務

と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は203,594百万円(前年同四半期比2.6%増)、営業利益は18,134百万円(前年同四半期比55.5%増)、経常利益は19,266百万円(前年同四半期比45.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,704百万円(前年同四半期比53.6%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、105.78円/米ドル(前第2四半期連結累計期間は、107.93円/米ドル)であります。

成長を支える新規投資

～宮城東洋 魚の加工場を新稼働～

2020年4月、宮城東洋株式会社は女川加工場の稼働を開始しました。

同社は、地元の水産物の獲れたてのおいしさをそのまま全国にお届けする前浜事業(前浜=目の前の海という意味)をはじめ、鮭鱒や魚卵の加工事業を行っています。女川加工場で加工度を上げた新商品を製造することで、魚という健康価値の高い食材に、時短・個食・簡便といった付加価値を持たせ、消費者の皆様にとって魅力ある商品展開を行ってまいります。

東日本大震災から来年で10年を迎えます。今後も事業を通じて地域の復興に貢献いたします。

宮城東洋 女川加工場 概要

所在地

宮城県牡鹿郡女川町鷺神2-11



主な生産商品



熟成鮭の
ちゃんちゃん焼き



赤魚の
煮付け

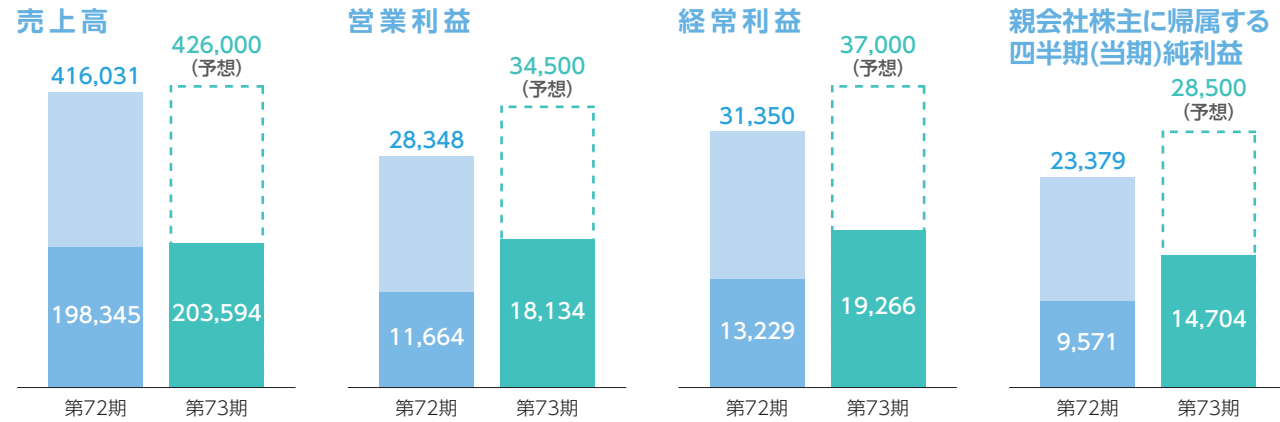


魚介と野菜の
アヒージョ

第73期第2四半期決算報告

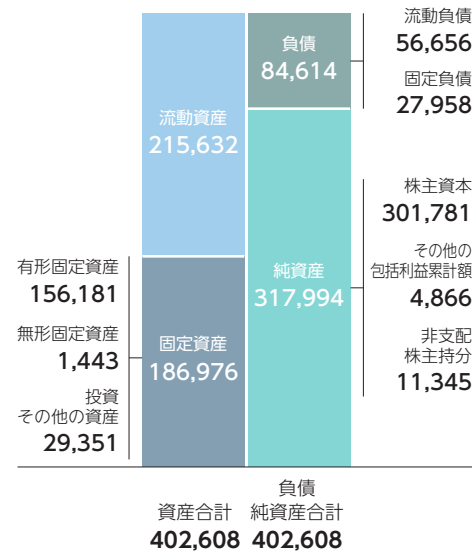
決算ハイライト (単位:百万円)

■ 第72期 第2四半期累計 ■ 第72期 通期 ■ 第73期 第2四半期累計

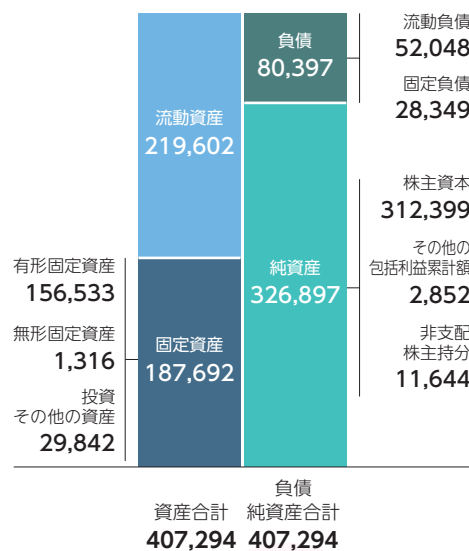


連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

前期末[72期](2020年3月31日現在)



当第2四半期末[73期](2020年9月30日現在)



資産の部(+4,685)

主に有価証券が増加しました。

負債の部(△4,217)

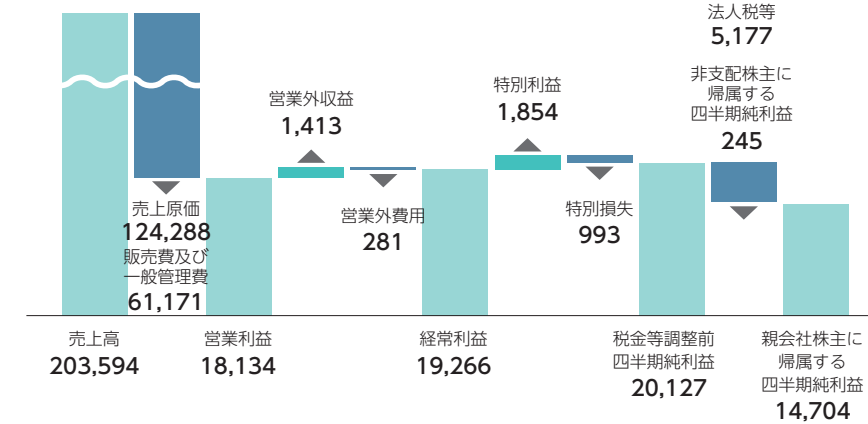
主に支払手形及び買掛金、未払費用が減少しました。

純資産の部(+8,902)

主に利益剰余金が増加しました。

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

当第2四半期累計[73期](2020年4月1日~9月30日)



売上高

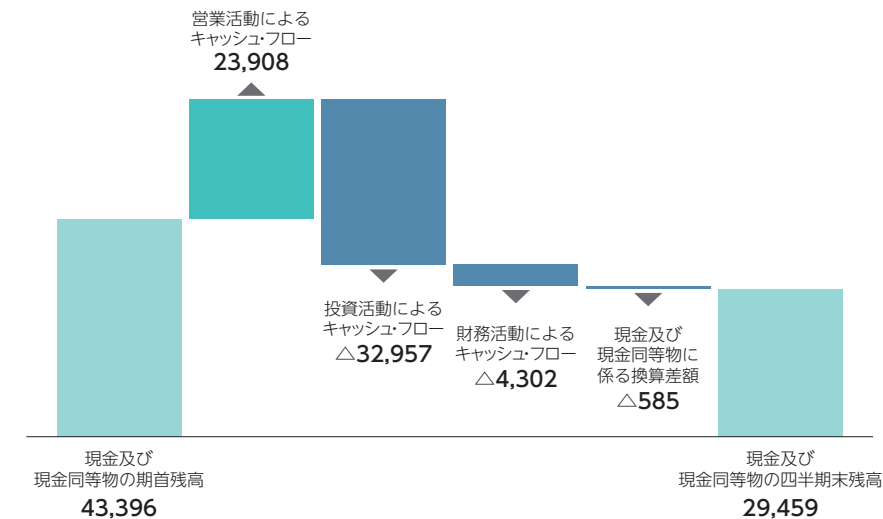
主力事業が牽引し、上半期過去最高の売上高となりました。

特別利益

グループ会社において、立地補助金収入がありました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)

当第2四半期累計[73期](2020年4月1日~9月30日)



営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益が増加したことにより、資金は増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の償還による収入が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払等に資金を使用しました。

セグメント別概要

水産食品事業

売上構成比率
6.3%

売上高
12,891 百万円 (前年同四半期比 13.6% ▲)

営業利益
217 百万円 (前年同四半期は △31百万円)



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての外出自粛等による影響で、一部スーパーマーケット、食品宅配事業向けの需要が高まり販売が伸びましたが、コンビニエンスストア、外食、ホテル向け需要が減退し全体としては販売数量が減少しました。また、主力商品である鮭鱒の市況価格が下落したこともあり減収となりました。その結果、売上高は12,891百万

円(前年同四半期比 13.6%減)、セグメント利益は、連結子会社において加工用設備の投資を行ったことにより、人件費、減価償却費の増加はありましたが、前年における棚卸資産の評価見直しの影響や適正価格での販売を進めたこと、在庫水準の圧縮に伴い保管料が減少したことにより217百万円(前年同四半期はセグメント損失31百万円)となりました。

海外即席麺事業

売上構成比率
21.9%

売上高
44,546 百万円 (前年同四半期比 6.4% ▲)

営業利益
7,846 百万円 (前年同四半期比 49.8% ▲)



米国では新型コロナウイルス感染症の拡大により即席麺の需要が高まったことで、主力商品の袋麺「Ramen」シリーズ、カップ麺「Instant Lunch」シリーズの販売数量が好調に推移し、増収となりました。メキシコではペソ安の影響等により主力のカップ麺の販売数量は前年を下回りましたが、袋麺が好調に推移したことや2020年1月に

実施した価格改定の効果もあり、増収となりました。その結果、売上高は44,546百万円(前年同四半期比 6.4%増)、セグメント利益は、物流費や人件費の増加はありましたが、販売促進費の抑制、広告宣伝費、原材料費の減少等により7,846百万円(前年同四半期比 49.8%増)となりました。

国内即席麺事業

売上構成比率
29.5%

売上高
60,017 百万円 (前年同四半期比 4.3% ▲)

営業利益
6,038 百万円 (前年同四半期比 93.2% ▲)



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての外出自粛等による影響で、家庭での喫食機会が増加したことで需要が高まりました。カップ麺では「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」等の和風シリーズに加え、「ごつ盛り」シリーズ、新商品を積極的に投入した「MARUCHAN QTTA」シリーズが好調に推移しましたが、カップ麺

全体では減収となりました。袋麺では「マルちゃん正麺」シリーズを中心に好調に推移し、増収となりました。その結果、売上高は60,017百万円(前年同四半期比 4.3%増)、セグメント利益は、人件費等の増加はありましたが、原材料費、販売促進費、広告宣伝費等の減少により6,038百万円(前年同四半期比 93.2%増)となりました。

低温食品事業

売上構成比率
20.0%

売上高
40,706 百万円 (前年同四半期比 9.2% ▲)

営業利益
3,763 百万円 (前年同四半期比 30.8% ▲)



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての外出自粛等による影響で、外食向け等の業務用商品の販売が縮小しましたが、家庭での喫食機会が増加したことで、市販商品の需要が高まりました。生麺では「マルちゃん焼そば3人前」シリーズを始め、うどん、ラーメン類等の主力商品を中心に好調に推移しました。また、昨年度大きく売上を伸ばした

「パリパリ無限」シリーズも順調に推移しました。チルド食品類では市販用商品を中心に好調に推移しましたが、冷凍食品類では業務用商品の需要縮小により、前年を下回りました。その結果、売上高は40,706百万円(前年同四半期比 9.2%増)、セグメント利益は、売上高の増加、原材料費の減少等により3,763百万円(前年同四半期比 30.8%増)となりました。

加工食品事業

売上構成比率
6.0%

売上高
12,276 百万円 (前年同四半期比 12.0% ▲)

営業利益
△490 百万円 (前年同四半期は △766 百万円)



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての外出自粛等による影響で、家庭での喫食機会が増加したことや備蓄食料として需要が高まりました。米飯では「あったかごはん」等の白飯シリーズ、「ふっくらお赤飯」等の味付けごはんシリーズ、「玄米ごはん」等の健康系シリーズ、フリーズドライ

商品では5食入り袋スープ「素材のチカラ」シリーズ等が好調に推移しました。その結果、売上高は12,276百万円(前年同四半期比 12.0%増)、セグメント損失は、売上高の増加、原材料費の減少等で276百万円改善し、490百万円(前年同四半期はセグメント損失766百万円)となりました。

冷蔵事業

売上構成比率
5.3%

売上高
10,865 百万円 (前年同四半期比 5.2% ▲)

営業利益
640 百万円 (前年同四半期比 3.7% ▲)



新型コロナウイルス感染症拡大や天候不順の影響により保管商品の荷動きが低調となりましたが、2020年5月に竣工した石狩新港物流センターの稼働効果に加え、通関・運送等の取扱いも堅調に推移しました。

その結果、売上高は10,865百万円(前年同四半期比 5.2%増)、セグメント利益は、新冷蔵庫稼働に伴う減価償却費や人件費等の増加により640百万円(前年同四半期比 3.7%減)となりました。

その他

売上構成比率
11.0%

売上高
22,290 百万円 (前年同四半期比 12.4% ▲)

営業利益
532 百万円 (前年同四半期比 36.6% ▲)

主に弁当・惣菜事業であります。売上高は22,290百万円(前年同四半期比 12.4%減)、セグメント利益は532百万円(前年同四半期比 36.6%減)となりました。

特集

1

国内即席麺事業

緑のたぬき天そば

40周年記念パッケージ商品
発売中!

「緑のたぬき」は今年で発売40周年を迎えました。これを機に、天ぷらを更においしくリニューアルし、40周年記念ロゴを加えた特別パッケージ版商品を期間限定で発売! 消費者キャンペーンなどを通じて40周年を盛り上げ、更なるブランドの強化を図っていきます。



衣まで更においしい「新天ぷら」に!!

小えび天ぷらの衣部分にたまねぎ粉末を配合し旨みをアップ。小えび天の香ばしさに加え、衣の部分までたまねぎの旨みを感じられる「新天ぷら」に改良しました。



麺

麺厚をアップさせ、食べごたえのある更にしかりとした食感に!



スープ

コクをアップ。麺からしみ出すラードのうまみで濃厚感とやみつき感が増す仕上がりに!

しっかり麺と、うまコクスープ。

MARUCHAN
クッタ
QTTA

2017年3月の発売以来、着実にファンを増やしてきた「MARUCHAN QTTA」をリニューアル! 様々な施策も実施し、お客様から愛される定番商品へと成長させていきます。

リニューアル!

調理写真を大きく見せ、更に食べたくなるパッケージへ。

特集

2

低温食品事業

家庭内調理の機会が増加する中、消費者の皆様においしさをお届けするため、様々な商品展開を行っています。



Follow me!



公式Instagram アカウント
@maruchan_yakisoba

Since 1975

おかげさまで
45周年

マルちゃん
焼そば



もっとおいしい食卓プロジェクト展開中!

“バランスとバラエティを食卓に”をテーマに「もっとおいしい食卓プロジェクト!」を展開しています。公式Instagramでは、手軽に作れて栄養バランス抜群なバラエティあふれるレシピを発信中。11月より、消費者の興味関心を更に高めるため動画によるレシピ紹介を始めました!

全面リニューアル!

だし・素材にこだわった本格的なラーメンを手軽に味わえる「コクの一滴」シリーズを今秋リニューアル。

ご家庭で専門店さながらの味わいを楽しめる、この時期にぴったりな商品に仕上げました。



ラインアップも充実



パリパリ
無限シリーズ

シリーズ累計出荷数
3,000万食超え!

期間限定

野菜をおいしく、たくさん食べられる「パリパリ無限」シリーズ。食卓の“もう一品”やお酒のおつまみにも最適!

特集 3

海外即席麺事業 **アメリカでの取り組み**

アメリカ現地法人MARUCHAN, INC. (マルチャンインク)では、生産供給能力の増強やマーケティング活動の強化など、更なる市場拡大に向けて着実に取り組んでいます。

★生産供給能力の増強

需要の増加に対応するため、アメリカ国内4ヵ所の製造拠点を適宜、増産投資を実施しています。

★SNSを活用したマーケティング活動の強化

インスタグラムやフェイスブック上での商品やレシピの紹介、インフルエンサーとのコラボなどを通じて、Maruchanブランドの魅力を積極的に発信しています。



スープ設備増設 (2019年) **バージニア工場**

ディア工場

ラグナ工場

2ライン増設 (2018年) **テキサス工場**

★アメリカでの売れ筋はチキンフレーバー!

アメリカでチキンスープといえば、懐かしい“母の味”。ホッとする味付けのチキンフレーバーは、各カテゴリーで人気です。

NEW!

Craft Ramen Noodles マルチャンゴールドシリーズ

より本格的な味を楽しめる袋麺の新商品を投入。ラーメンという食文化の更なる浸透を図っていきます。



特集 4

地域・社会の笑顔のために

「食を通じ、皆様に笑顔をお届けしたい」という想いのもと、身近な食品や食文化についての知識や、東洋水産グループの事業を地域の皆様に知っていただくための活動を行っています。コロナ禍での開催となった今年度は、感染予防対策を取ったうえで行いました。その一部をご紹介します。



田子工場で稚魚放流活動を実施

水産資源の保護・育成と水産業や観光業における地域活性化の一助となることを目的に、1996年より開始した稚魚放流活動が今年で22回目を迎えました。地域の幼稚園・保育園の子どもたちが参加し、田子工場(静岡県賀茂郡)周辺の海にカサゴなどの稚魚を約1万匹放流しました。

オリジナル食育プログラム

「だしの秘密」を開催

東京都の港区立筈(こうがい)小学校で、オリジナル食育プログラム「だしの秘密」を実施しました。日本の伝統的な食文化である「だし」に関する知識や「おいしさ」を感じる仕組みなどを紹介し、後半には参加者の皆様が好きなつゆと具材を選べる「オリジナル赤いきつねうどん」作りを行いました。

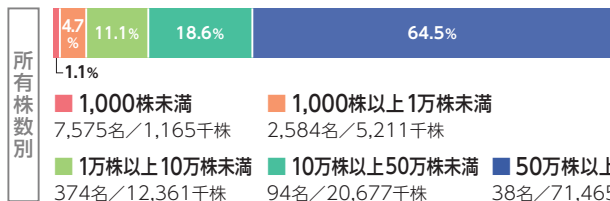
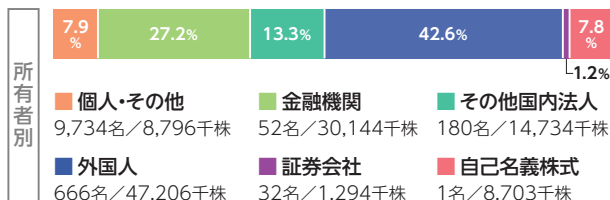


会社・株式データ

● 会社概要 (2020年9月30日現在)

社名	東洋水産株式会社 Toyo Suisan Kaisha, Ltd.
創立	1953年3月25日
資本金	189億69百万円
従業員数(連結)	4,986名
本社	〒108-8501 東京都港区港南2丁目13番40号 TEL. 03-3458-5111(代表)
創業者	森 和夫
代表者	会長: 堤 殷 社長: 今村 将也
事業所数	工場 8、冷凍冷蔵庫 17、支店・営業所 28
グループ会社	32社(海外10社含む)

● 株式分布状況



● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし電子公告できない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。 アドレス https://www.maruchan.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-782-031(フリーダイヤル)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)

株式に関する各種お手続きについて

- 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受領方法の指定等
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 特別口座から証券会社の口座への振替申請
特別口座の株式については、単元未満株式の買取請求を除き売買ができません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。お手続きの詳細は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払請求
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ゆうちょ銀行の貯金口座で配当金をお受取いただけます

配当金の振込先として、銀行等の預金口座に加えて、ゆうちょ銀行の貯金口座もご指定いただけます。希望される場合は、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。